

議 平生町 議会だより

第 121 号
2011 年 10 月 28 日

発行 平生町議会
〒742-1195
山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
発行責任者 福田 洋明
編集 議会広報広聴調査特別委員会



建てかえの決まった曽根公民館（昭和 46 年建設）

9 月
議会報告
いっぱん質問

定例会	2 ページ
委員会研修報告	3 ページ
審査報告	4 ページ
いっぱん質問	6 ページ
意見書・研修報告	12 ページ

平成22年度決算 他会計繰入金が6億6598万円

水道事業などの特別会計の不足分などを、一般会計から補った金額



第7回定例会のようす（9月14～22日）

平成23年第7回平生町議会定例会が、9月14日から22日までの9日間の日程で開かれました。

9月定例会議会は、22年度の決算認定議会有り、予算が適正に執行されているか審査します。上程された議案は、

平成23年度補正予算 8545万円を増額

平成23年度一般会計総額は8545万円が増額され49億2800万円となります。

主な歳入

- ▽地方交付税 3251万円増額
- ▽国庫補助金 2025万円減額
- ▽繰越金 1億4479万円増額
- ▽町債 7502万円減額

主な歳出

- ▽総務管理費 1億816万円増額
- ▽水産業費 3879万円減額
- ▽社会教育費 1592万円増額
- ▽債務負担行為 1億3000万円以内
- ▽曽根公民館改築事業 限度額

平成22年度 歳入・歳出 決算を認定

平成22年度一般会計歳入歳出決算は、歳入総額が57億7455万円、歳出総額が55億8901万円、差引額が、1億8553万円となり、繰越明許費繰越額1074万円を除いた実質収支額は、1億7479万円となりました。

単年度収支については、197万円の黒字となりました。実質単年度収支についても、1億907万円の黒字となります。

歳入歳出の前年度対比については、歳入が0.5%の減額、歳出が0.4%の増額となっており、ほぼ平成21年度と同様な決算規模となっています。

歳入の主な減額要因は、21年度に実施した定額給付金事業の終了と町税の減収などによるものです。主な歳入の増額は、



鳥枝達典さん

人事案件

教育委員の任命

10月19日任期満了をむかえる教育委員の鳥枝達典さんを、全会一致で同意し再任されました。

地方交付税が21年度と比較して『9347万円』増額となっております。繰越事業である地域活性化、きめ細かな交付金、公共投資臨時交付金や学校建設に伴う安全・安心な学校づくり交付金、子ども手当の国庫負担金などが増額要因です。歳出の主な増額要因については、子ども手当の支給事業と平生小改築事業、平生中屋内運動場耐震改修事業の繰越事業によるものです。

委員会行政視察研修報告

8月23日
～25日

総務厚生常任委員会

8月23日から25日の日程で研修を行いました。

23日は、愛媛県伊方原子力発電所にて防災対策を研修しました。

津波対策、炉心重大損傷時の安全措置、耐震性向上追加対策などの説明を受けました。

震災を受け大規模な安全対策がなされていましたが、国からの安全基準が示されないため事業所は独自の対策をしていました。伊方原発から平生町は約40kmの地点にあるだけに、今後注視していく必要があります。

24日は、高知県梶原町で「自然を生かした循環と共生のまちづくり」を研修しました。町直営での風力発電

所のほか、太陽光発電への助成、木質バイオマスの活用、水力発電、地熱利用などの説明を受けました。

自然エネルギーで雇用を増やそうとしたり、財政健全化のため、経常経費削減、職員削減も行っているが、根本

には、住民の積極的な行政参加がありました。25日は、愛媛県松山市で2042kwの太陽光発電を研修しました。

1万5千枚余りのパネルを設置して、年間約220万kw（一般家庭の約600戸分）の発電量を予定しているとの説明を受けました。

また、平成32年度までには、4342kwに増設する計画も聞きま

した。広大な敷地が必要な上、発電量が天候に左右され、コストも高くなりますが安全な発電方法ではあります。



松山太陽光発電所

8月23日から25日の日程で研修を行いました。

23日は、福岡県広川町で学力向上について研修しました。

活用力育成の授業づくり、中高学年における交換授業の実施、教職員の意識改革などの説明を受けました。

町全体での「児童、生徒、保護者、教員」の教育力向上推進の取り組みに驚かされました。

24日は、熊本県南阿蘇村で農業振興について研修しました。水田お助け隊、農業研修生受け入れ、頑張る地域支援補助金を活用した村づくりについて説明を受けました。頑張る地域支援補助金は、平生町でも実施していた「地域の力発揮事業」と同様であるが、金額は倍額の100万円でした。



産業文教常任委員会

24日は、熊本県南阿蘇村で農業振興について研修しました。

水田お助け隊、農業研修生受け入れ、頑張る地域支援補助金を活用した村づくりについて説明を受けました。頑張る地域支援補助金は、平生町でも実施していた「地域の力発揮事業」と同様であるが、金額は倍額の100万円でした。

ただ、当町と違うところは、この事業により経済効果が生まれていることとあります。

25日は、福岡県福岡市にて風レンズ風車を視察しました。

風レンズ風車はテスト段階であるが、予想していた風車とは格段に小さく、発電量も少ないようでした。

今後、研究していく必要があります。



風レンズ風車（福岡市）

常任委員会審査報告

高齢者の増加で介護給付費の対応は！

総務厚生常任委員会

平成23年9月14日の本会議から付託を受けた所管事項について、9月16日に慎重に審議しました。その結果、すべてを全会一致で承認しました。主な審議経過は次のとおりです。

補正予算

質 中央児童館運営費の修繕料について、原因は何か。

答 屋根材の継ぎ目の腐食によるもの。

質 町全体の公共施設の維持管理は。

答 基本は主管課、専門的なものは建設課が関与している。

質 ごみ集積箇所の補助金は、どの程度を見込んで当初予算を計上していたのか。

答 前年度の実績を考慮して10件分。

質 一般被保険者第三者行為による賠償とは何か。

答 交通事故による治療費の立替金について、被害者と加害者の負担割合によって、賠償金として国民健康保険会計に入ってくるもの。

質 介護給付費準備基金積立金の残高は。

答 22年度末で3827万7920円。

質 基金の積立は、補正しかだめなのか。

答 過年度分の交付金等、22年度の確定に伴い歳入歳出を差し引き、残高を基金に積み立てるため。

条例・承認

質 「暴力団員または暴力団員でなくなった日」とあるが、これら

の決めかたは、警察と連携して対応

する。

質 災害弔慰金は、東日本大震災による特定者のみの適用か。

答 自然災害すべてにおいて適用される。

質 土地保有税はどのくらいか。

答 本町では例がないが、国の法改正に伴う条例改正。

決算認定

質 固定資産税滞納繰越分の不納欠損は何件分か。不納欠損の今後の対応は。

答 41件分。固定資産の実態調査を実施したい。

質 障害者福祉費の相談支援機能強化事業の内容は。

答 障害者・保護者からの相談に応じて必要な情報や助言のほか、福祉サービスの利用援助等の業務、カウンセリ

質 町内の住宅用火災警報器はどの程度設置さ

れているか。

答 現時点では把握していないが、今後調査したい。

質 借上料のパソコンは何台分か。

答 介護認定審査会の構成町である平生町・田布施町・上関町の3台分。

質 高齢者の増加により今後介護給付費が増加すると思われるが、

その対応は。

答 介護予防に力を入れていきたい。

質 滞納繰越分の不納欠損についての行政の対応はどうか。

答 未納の方は、介護サービスを受ける際に負担が増える仕組みになっている。滞納が発生しないように努力したい。



敬老会（平生会場）

委員会での委員から出された要望や意見等を 今後加味するように要望しました。

曾根地区まちづくりの拠点 公民館の改築へ一歩前進！

産業文教常任委員会

本会議から付託を受けた所管事項について、9月20日に慎重に審議しました。

その結果、議案第1号中、所管事項と債務負担行為補正は、賛成多数で承認し、その他は全会一致で承認しました。主な審議経過は次のとおりです。

補正予算

質 わな猟狩猟免許取得後に猟友会に加入する理由と、免許なしに自己所有地にわなを設置してはいけない理由は何か。

答 猟友会への加入は義務ではないが、共済保険への加入をお願いしている。有害鳥獣の駆除は町が許可を出しており、自衛わなは可能

質 だが自己責任となる。曾根公民館解体の坪単価はいくらか。

答 建物本体では、約6万6000円。

質 曾根公民館の改築は、現状と同規模程度だが、その根拠は何か。将来人口を勘案しているのか。

答 地元協議に入るとき同規模と申し上げたが、意見を聞いてどれくらい広がるかは、これからになる。利用者が快適に、利用できる広さが必要であり、設置基準もある。避難所でもあり、現状の広さを確保したい。

質 簡易水道の時間外勤務の補正理由は何か。
答 蔭平・日向平の飲料水供給施設の漏水対応と、検針員の辞職で職員が対応したことによるもの。

るもの。

質 下水道の過誤納付還付金は予算に、余裕をもっていなかったのか。

答 金額は小さいが、過誤納なので、補正するもの。

質 漁業集落排水の消費税の補正理由。

答 22年度の消費税額の確定によるもの。

決算認定

質 ジャンボタニシの駆除の効果は。

答 薬剤散布し、効果は上がっている。

質 観光協会が設置した看板等の維持管理の指導はどうか。

答 今後指導していく。

質 小・中学校のプールの水質管理は。

答 循環器があり、塩素滅菌をしている。

質 田布施・平生水道企業団への負担金は、県の補助金が入っているのか、町の一般会計か

らか。

答 負担金は、町が事業費の5割を負担している。県補助は、水道料金低減対策事業である。

質 県補助がなくなった場合、町が同額を補助するのか。

答 今後の動向は、推移をみながら対応していく。

質 簡易水道料金計算業務は、上水道と一本化できないのか。

答 簡易水道と上水道の統合を進めている。下水道の歳入は、他

会計と町債で約7割、今後受益負担はどうなるのか。今後の整備にあと何年か。

答 他会計は一般会計からで、基準外が約2700万円。

下水道区域外には、合併浄化槽等の補助制度等がある。現在の計画では後20年の予定。

質 佐賀の処理場の汚泥処理費の削減対策について。

答 来年度には予算化をして取り組む。



解体の決まった曾根公民館



淵上正博 議員

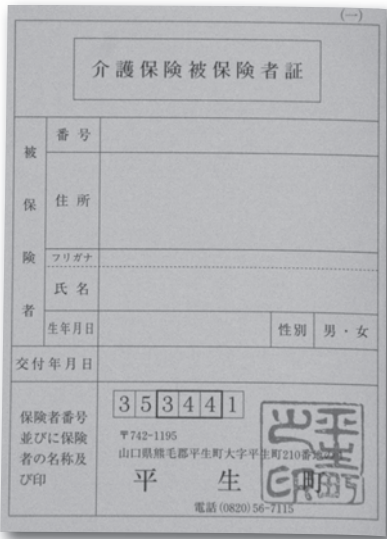
いっばん質問



が聞きたい

質 改定介護保険法の方角性は

答 整合性を図りながら実施する



介護保険被保険者証

質

介護保険改定法案が
来年4月から実施され
ることとなった。

今回の改定により、
市町村は、介護予防・
日常生活支援総合事業
を創設することができ
る。

これは、要支援者につ
いて、従来の予防給
付を受けるのか、総合
事業に移行させるのか
一人ひとりについて判
断することになる。

サービス内容も料金
設定も市町村となる。
当町では、どのよう
な方針で臨むのか。

答 町長

従来から既に制度化
している地域支援事業
の中に組みこむ。

現行のいろんな事業、
サービスの整合性を
図っていきながら、論
議を進めていきたい。

本町として、事業
等の整合性を見なが
ら、担当のケアマネー
ジャー、本人、家族と
話し合い、決定してい
きたい。

質 交通弱者の移動手段の確保は

答 実施できる体制を進める

質

平生町では、高齢者
を中心に、日常的な買
い物、通院を、バス停
まで1km以上も歩いて
出られる一人暮らしの方
が増加している。

県内においては、バ
スの利用助成、タク
シー料金助成など、さ
まざまな取り組みが始
まっている。

高齢者の移動手段の
確保は、今、緊急の課
題だと思ふ。
当町の取り組みはど
うか。

答 町長

本町として、介護サ
ポートタクシー事業、
一回当たり500円分
の介護タクシー券を年
間24枚、身障者の割引
証は24枚発行している。
さらに人工透析等の
患者は、自動車税減免
を受けていない方は、
年間48枚追加して96枚
となる。

早く方向づけをし、
いろいろな方法を実証
実験的に取り組み、実
施できる体制を進める。



循環バス（上関町）



平岡正一 議員

質 防災計画見直しの進捗状況は？

答 準備を進めている

質

防災計画の見直しの進捗状況はどうか。過去の大雨による人身災害を含めた大変な経験をしている。大内川の老朽化により、土手添い川周辺や山間部、急傾斜地域での重大災害が危惧される。避難勧告や指示のあり方を地域で十分説明し訓練をしておくことが大切と思うがどうか。



見直しの進む平生町地域防災計画

答

町長

現状では対応できていない部分を地域防災計画の中に取り込む準備をさせている。現在、県が、地震、津波、高潮等を中心に、防災計画の見直しをしている。本町も土砂災害警戒区域の指定にかかわる諸調査をしている。要援護者に対するシステムづくりを進めており、対応をしっかりとやっていきたい。

質 下水道工事による町道の劣化対策を

答 順次、実施している

質

下水道工事が始まって、相当の年数が経過している。工事実施部分の町道の劣化がひどい。町道の危険箇所全体の調査を進めているが、状況はどうか。特に桜町線の劣化は相当進んでいる。雨の日には、車輪のしびきが歩道や家まで飛散場面もある。対策が必要と思うがどうか。

答

建設課長

町内の調査したものである。現在は、点々（部分）舗装で発注している。質問の場所については、現地調査をし、自治会長とも協議のうえ、財政面も考慮し、オーバーレイ（上塗り）方式に決定した。

その他の質問

- ・役場入口に自転車置き場を
- ・夏祭りの花火の活性化を



オーバーレイでの点々舗装（桜町）



岩本ひろ子 議員

質 学校教育の進め方について

答 学力向上検証委員会で連携を図っている

質 子供たちが、変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな人間性、健康体力の知・徳・体をバランスよく育て、生きる力を育む事を目指すには、町と地域学校教育の地域協育ネットが必要と Think 思

答 教育長
学校、地域、家庭、この3者が一体となつた教育を社会総がかりで取り組んでいくことが教育基本法にうたいこまれており、平生町では、ひらお学力向上プロジェクトを立ち上げ、学力向上検証委員会を設置し、幼稚園から小学校、中学校の連携を図っている。

そこで、学校での教育方針としての子供たちの成長目標と生徒主導での学習の取り組みについての考えを問



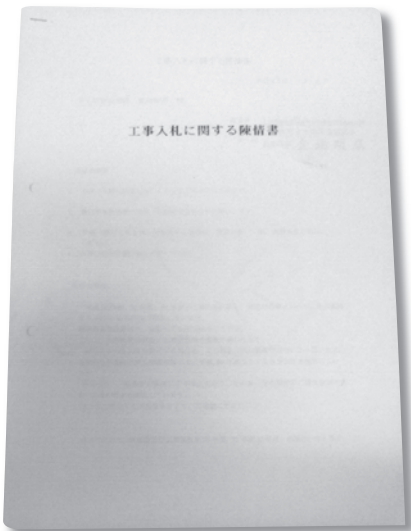
学校支援ボランティア（平生小学校）

質 業者の指名停止基準について

答 指名停止は要綱に基づいて決定する

質 町の指名業者は、経営分析審査を受け合格して許可を得ている。地元業者の育成、地元経済の振興といった観点からも、不信、不満が出ないよう、町は努力するべきだ。

答 町長
本町では、県に準じ、平生町建設工事等の請負契約に係る指名停止措置要綱を定めている。指名停止については、この要綱に定める指名停止要件、指名停止措置の要件、不正または不誠実な行為に該当するということ、指名審査会を通し、最終的には指名権者である町長が決定する。



工事入札に関する陳情書



久保俊一 議員

質 各種委員の選任について

答 常に見直しをしていきたい

質 審議会・委員会等の委員は、公共的団体等の代表が選任されているので、どの会も半数以上は同じ委員で構成されている。

これが平生町の現実である。

これで平生町の活性化ができるのか。

平生町の活性化のため、各地域の会社を定年退職された、優秀な人材をリーダーとして育てる考えはないか。



町内観光資源の活性化も必要

答 町長

長くその組織団体の長等をやっておられるば、審議会・協議会も長く兼務されていることは承知している。

町の活性化を考えた場合には、さまざまな意見を持つ委員の方が参加していただく必要があると思う。

リーダー研修についても自治会の皆様としっかりやっていきたい。

質 公共施設の維持管理について

答 少しずつ整備を進める



維持管理が必要な室津半島スカイライン

質 山間部の道路は、維持管理ができていない。

室津半島スカイラインは名前だけで現状は大規模農道である。

観光施設・公園も同じ現状である。

これらを、元の姿に戻す考えはないか。

維持管理できないなら新しい公共施設をつくる必要はないと思う。

各公園も、利用者が気軽に利用できるよう改善できないか。

答 町長

道路、観光施設、公園等の現状を調査し問題意識を持って整備に当たるようにしっかりと指導する。

現在は、シルバ、業者、森林組合等に委託し、国の緊急雇用も活用しているが、手が回らない状況にある。

自然豊かな平生ということをみんなに実感していただける取り組みを、これからもしていく。

その他の質問

・第四次平生町総合計画について



河藤泰明 議員

質 排水能力を調査してはどうか

答 しっかり対応していく



水が溢れる道路 (大野河田 H23.7.4)

質

町内の水害が発生する場所は、解決できていない。独自の、きめ細やかな対策の連携が有効な対策になると考える。そこに住んでいらっしやる方は、雨のたびに不安な日を過ごさなければならぬ。実践で使える防災マニュアルのためにも平生町が持つ本来の排水能力など、実態を詳しく調査してはどうか。

答

町長

水害が発生する場所については、水路の基本的なあり方、対応策、維持管理の面も含めて、地域の方々の協力もいっただいて、しっかり対応していく。

質 町民の生活をどのように守るのか

答 地域防災力を高めていく

質

東日本大震災や自然災害が国難に迫いうちをかけ、危機的状況にある中、町民の生命と財産、そして、日々の生活をどのように守っていくのか。平生町の「人」、「土地」など、存在するすべてを含めた潜在能力を把握・分析をし、それをもとに、住みたくなる町、平生町のために「新山田私案」を出してはどうか。

答

町長

防災対策が基本で、防災の能力、地域防災力を高めていくことがまず第一段。二つ目は、第四次の総合計画に基づいて、自助、共助、公助等が機能していく地域社会を目指していく。総合計画のもと、まちづくり協議会の協議の中で計画の実を結んでいくよう努力をしていきたい。



「祭」は地域の力(まち・むら盆踊り大会 8月20日)



村中仁司 議員

質 都市計画見直しについて

答 環境整備を図っていく

質 都市計画は策定当時より40年近くたち、町のあり方が変わってきており、住宅環境、地域環境、防災等の諸問題に関し見直しはできないか。

良好な市街地の形成、農地の保全をすべき。用途地域内に農地もあり、遊休荒廃農地が目立っている。

今こそ、農振地域に見直し、農地の整備をし、次世代に引き継ぐ必要があるのではない

答



住宅地域内の荒廃農地

答 町長

住宅環境、防災等々の対策については、当然やっつけていかなければならないが、都市計画を一定のその下敷きにして、良好な環境整備を図っていききたい。

都市計画で、ある一部だけ白地にとはいかない。

農業政策全体として、担い手の対策、後継者の問題、農地の保全と

質 公共施設の有効活用を問う

答 公共施設のあり方の検討を進める



細田留美子 議員



佐賀公民館まつり（10月2日）

質

公共施設にはそれぞれの使命や役割がある。地域性や時代に合せてたえず見直しが必要と考える。

補助金適正化法の緩和や高齢社会の進展など環境の変化もある。有効活用はどのように考えているか。

地域住民による活用促進と地域課題を解決する拠点となるような戦略とマネジメントを問う。

答

答 町長

それぞれ公共施設は、生まれたところの背景にある使命と目的に向けて活用していけるようにすること。

そして幅広く地域の皆さんに親しんでいただくような拠点施設になるように活用していただきたいと思っ

町民センター的な機能を持ち防災・防犯の拠点といったことも念頭に置きながら、公共施設のあり方の検討を進めていきたい。

「離島振興法」の改正・延長を求める意見書を 全会一致で可決

この意見書は、24年度末で効力を失う「離島振興法」について、振興策の見直しと期限延長を国に対して強く要望するものです。本町の佐合島にとって、災害時や緊急時の対応も含めて生活条件の整備のために必要な法律です。

22日の本会議に提出し、全会一致で可決しました。意見書は、すみやかに国へ郵送しました。

「離島振興法」の改正・延長を求める意見書

昭和28年の離島振興法制定以後、全国の離島において離島振興事業が積極的に進められ、離島の生活条件が大いに改善されてきたところである。

しかしながら、当町においても、熊本群島のひとつを構成する離島である佐合島をとりまく環境は、依然として厳しい状況が続いている。高齢化も進み、介護通所サービスの利用環境の整備や、日々の生活に欠かすことのできない航路の維持はもちろん、医療や緊急時対応としてのヘリポートの整備が求められている。

また、集落や公共施設、集落道などが海岸付近に集中していることから、高潮による被害防止のためにも、海岸保全施設や迂回路の整備が必要である。

よって、国は離島の現状を十分認識し、離島を有する自治体が自主・自立性を発揮して離島振興を進めることができるよう、離島振興対策の見直しを図る必要がある。

特に、下記事項の実現を強く要望する。

記

- 1 総合的な離島振興策を強力に推進するため、「離島振興法」を改正・延長すること。
- 2 国庫補助負担金の一括交付金化にあたっては、離島への補助金・交付金等は、一括交付金の対象から除外し、国の責任において必要な額を確保すること。
- 3 緊急時対応も含めた、離島医療の充実のためのドクターヘリ等、緊急輸送体制の整備を充実すること。
- 4 離島へき地教育を充実するため、遠距離通学等に係る財政措置を充実すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
平成23年9月22日

山口県平生町議会

第12回柳井地区広域市町議会議員研修会

柳井地区広域市町議会議員研修会が7月26日、柳井クルーズホテルで開かれました。山口県でも本年1月から運航されているドクターヘリについて講演を聴きました。さらなる医療充実のため、連携強化を進めていきます。



平成23年度町議会実務研修会

町議会実務研修会が7月29日、山口市の防長苑で開かれました。中央大学法学部教授の磯崎初仁氏を講師に迎え、「これからの自治体議会の役割と改革」と題して講演をいただきました。

平生町議会も役割を再認識し、必要な改革を進めていきます。



議会の動き

(H23・6/16)

H23・9/5

6月16日	議会広報広聴調査特別委員会
6月24日	議会運営委員会
6月29日	議会広報広聴調査特別委員会
7月6日	議会広報広聴調査特別委員会
7月13日	議会広報広聴調査特別委員会
7月26日	第6回臨時会
7月27日	第12回柳井地区広域市町議会議員研修会
7月29日	平成23年第2回田布施・平生水道企業団議定例会
7月29日	町議会実務研修会
8月19日	郡議会広報連絡協議会第16回定期総会
8月23日	総務厚生常任委員会行政視察
8月25日	産業文教常任委員会行政視察
8月30日	産業文教常任委員会行政視察
8月31日	議会運営委員会
9月5日	議会全員協議会

原稿募集

- ・字数 400字以内
- ・締切日 平成23年11月30日
- ・提出先 平生町役場議会事務局

紙面の都合で一部変更することもあります。ご了承ください。掲載文には薄謝を差しあげます。

編集後記

十月一日から第66回おいでませ！山口国体が開催され、天皇・皇后陛下をお迎えして盛大に幕を開けました。各県の選手の奮闘ぶり、また地元への応援も熱が高まり熱戦が繰り広げられました。山口県勢は優勝並びに上位の競技得点を取り、初めて男女総合順位一位・女子総合順位一位となり天皇杯・皇后杯を獲得するという素晴らしい結果となりました。各選手の奮闘ぶりは感動・勇気・希望を皆さんに与えることが出来たと思います。岩本ひろ子